

## 看護の日・看護週間の開催予定日程

日程	時間	場所(施設名)
5月2日④	13:00~15:30	シライシアター野洲/野洲駅南口(市立野洲病院)
5月8日⑤	10:00~11:30	琵琶湖養育院病院
5月9日④	13:00~15:30	近江温泉病院
5月10日⑤	10:00~15:00	ショッピングプラザアピア/1Fセントラルコート(国立病院機構東近江総合医療センター)
5月10日⑤	8:30~16:30	彦根中央病院
5月10日⑤	9:30~11:00	豊公園(セフィロト病院)
5月11日⑤	14:00~15:30	滋賀県立小児保健医療センター
5月12日④	10:30~12:30	公立甲賀病院
5月12日④	9:00~12:00	ヴォーリス記念病院
5月12日④	8:30~13:00	長浜赤十字病院
5月13日④	10:00~13:00	近江草津徳洲会病院
5月13日④	14:00~15:00	滋賀県立精神医療センター
5月13日④	15:00~16:00	近江八幡市立総合医療センター
5月13日④	9:00~11:30	神崎中央病院
5月13日④	14:00~16:00	湖東記念病院
5月13日④	9:30~15:00	今津病院
5月13日④	9:00~12:00	高島市民病院

日程	時間	場所(施設名)
5月14日⑥	9:30~15:00	大津赤十字病院
5月14日⑥	12:00~15:00	フォレオ大津一里山/センターコートB1F(滋賀医科大学医学部附属病院)
5月14日⑥	10:00~12:00	草津総合病院
5月14日⑥	10:00~12:00	日野記念病院
5月14日⑥	10:00~12:00	豊郷病院
5月14日⑥	9:30~12:30	東近江敬愛病院
5月15日⑤	13:00~15:30	琵琶湖中央病院
5月15日⑤	13:30~15:00	南草津病院
5月15日⑤	13:00~16:00	滋賀県立総合病院
5月15日⑤	10:00~15:00	市立長浜病院
5月15日⑤	10:00~13:00	マキノ病院
5月16日④	14:00~16:00	イズミヤ堅田店/広場(琵琶湖大橋病院)
5月16日④	9:00~12:00	長浜市立湖北病院
5月17日⑤	8:00~16:00	済生会滋賀県病院
5月21日⑥	14:00~15:00	友仁山崎病院
5月23日④	未定	済生会守山市民病院

※予定は変更になることがあります。

広報紙「ナースレーク」

# Nurse Lake

Vol.146

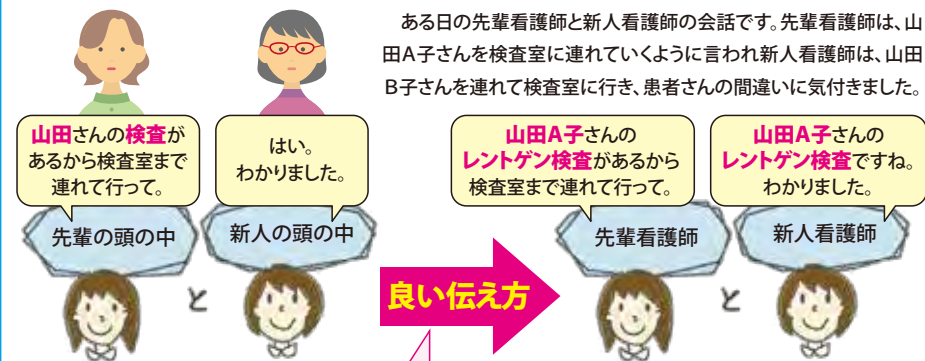
2020年4月



## 医療安全通信

### コミュニケーションエラーはこうして起きる

#### 検査時のコミュニケーションエラー

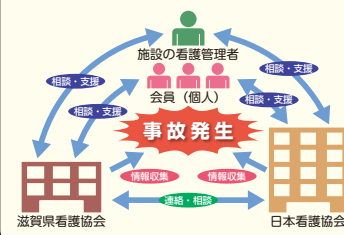


- 新人看護師に伝える際には具体的に理解できる言葉で伝えましょう。
- 新人看護師は自分を理解した内容をきちんと復唱し、先輩看護師が伝えたい内容と合っているか確認をしましょう。
- 先輩看護師は自分が伝えたいことが正しく伝わっているか再度確認しましょう。

## 医療安全推進委員会 vol.38

### 医療安全相談窓口

- 受付時間: 9時30分~16時(平日のみ)
- 場 所: 滋賀県看護研修センター内  
TEL.077-564-6468  
FAX.077-562-8998
- 担 当: 看護協会長・常務理事・医療安全推進委員(適宜)
- 方 法: 電話相談・来訪相談・FAX相談



## 会員の声



- ▶ 毎日忙しく働いてヘトヘトです。いろんな場所で仲間が頑張っていると思うと、自分も明日からまた頑張れます。(A.M)
- ▶ 滋賀県看護学会報告の記事を拝見しました。日々、ACPの実践についてチームアプローチの重要性を実感する毎日です。(Y.M)

## 投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声(ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック!(次回発刊は7月上旬予定です)

## 編集後記

4月に入り、桜も満開の季節となりました。年度も変わり各施設、各職場の皆さんもフレッシュな新入職員を迎え、新たなスタートを切られていると思います。ナースレークでは今年度もホットな看護情報をお届けできるよう取り組んでいきたいと思っています。

## CONTENTS

- 会長あいさつ/Voice~これからの看護職に期待すること~.....2
- 秋の叙勲/感謝状を頂きました/Nursing now.....3
- 訪問看護支援センター.....3
- 《一番星見つけた!》地域包括ケアシステムへの取り組み...4~5
- 地区支部だより活動報告.....6~7
- 《活動報告》看護師職能委員会I/教育委員会.....8
- 《研修会報告》労働環境委員会.....9
- ナースセンターだより/はたさぼ通信.....10~11
- 看護の日・看護週間の開催日程/医療安全通信.....12
- 会員の声/編集後記.....12

発行所 ● 公益社団法人 滋賀県看護協会  
発行責任者 ● 会長 廣原恵子  
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号  
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998  
http://shiga-kango.jp/

モバイルサイト



滋賀県看護協会

検索



滋賀県看護協会会員数(令和2年3月1日現在)

保健師/ 343人 助産師/ 271人 合計 8,988人  
看護師/ 8,161人 准看護師/ 213人

表紙写真: 奥比湖パークウェイから比良山系を望む(撮影: 大津市 T.U.)



令和2年度開始にあたり

「Nursing Nowキャンペーン」

「看護の日30周年」で

# 看護を躍進・進化



滋賀県看護協会 会長 廣原 恵子

日頃より、滋賀県看護協会事業に格別のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

会員の皆さまの各施設におかれましては、今般の新型コロナウイルス感染症防止対応やその一環としての学校臨時休業等に関する看護職員の勤務調整などお忙しい日々をおすごしのことと存じます。この4月からは、新人看護職員を始め新しく仲間になられた職員を迎えられ、新たな気持ちで令和2年度事業を開始されたことと思います。

## 「ナースンゲール生誕200年」「看護の日30周年」の記念特別事業を進めます。

Nursing Now「看護の力で健康な社会を！」をメインテーマに、世界の看護職が人々の健康向上に積極的に貢献しようとして活動を強化しています。滋賀県看護協会におきましても5月10日県民向け「看護フェア」を盛大に、5月12日は「看護の日記念式典とナースンゲールシンポジウム」企

画や滋賀版「忘れられない看護エピソード募集」も予定しています。現場での看護力強化や各施設での取り組みと共にイベントへのご参加やエピソードをお待ちしております。

## 今年度から滋賀県看護協会総会において役員等の選出方法が変わります。

これまで役員及び推薦委員並びに日本看護協会代議員予備代議員の選出につきましては、総会において投票形式による選挙を行っておりましたが、他県看護協会の状況を鑑み、理事会で、滋賀県看護協会定款細則や選挙規定、役員等の推薦及び推薦委員会に関する規定の改正を行いました。これにより、役員等の選出において候補者が改選数を超えないときは投票を行わないこととなりました。

令和2年度滋賀県看護協会総会は、6月20日(土) 午後から栗東芸術文化会館さくらホールで開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

# Voice

## これからの看護職に期待すること



一般社団法人 滋賀県作業療法士会 会長 宮内 吉則

私は地域で活動する看護職の方に期待することを改めて考えてみて、看護職の方はとても近い存在だと感じています。それは地域では、看護師であれ作業療法士であれ、かかわる方は患者ではなく生活者だからだと思います。

病院では「治療する」という前提があり、かかわりを持ち専門的に指導することで問題の解決が図られますが、地域ではその人

自身が生活できることを支えるのが重要なので、習慣や役割といったことに結び付く問題解決を考えなければ効果を期待できないことが多いからです。また家族や近所の方、行政・福祉の方など大勢が関係していることもあるので、そうした周囲の方にも理解しやすい・協力しやすい内容での助言することが大切だからです。

専門職同士、それぞれの知識のバックグラウンドには違いがありますが、対象とする方は同じ一人の人なので、それぞれに意見交換し理解を深めていくことが協働の近道であると考えます。どれだけ利用者本位の考え方ができるかが、これからの地域を支える人材になると思います。

受賞おめでとうございます

# 秋の叙勲

永年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

瑞宝単光章



## 【看護業務功労】

元市立長浜病院看護員  
元公益社団法人滋賀県看護協会会長

石橋 美年子 さん



滋賀県産婦人科医学会創立70周年にあたり、助産師出向事業の推進や産後ケア事業への協力に対して感謝状を頂きました。

看護の日・看護週間制定30周年

ナースンゲール生誕200周年

## 記念特別事業を開催します!!



日時 5月12日(火) 13:30~16:30

会場 滋賀県看護研修センター

内容

- 滋賀県看護協会会長表彰 授賞式
- 記念シンポジウム「三方よし精神で看護の力で滋賀を元気に!」～看護職から看護職へのメッセージ～
- 展示/「看護の日」活動の30年を振り返って・広報誌「ナースレク」の歴史

参加無料

滋賀版 「忘れられない看護エピソード」を募集します!!

募集期間 …… 令和2年 5月12日～8月31日

審査結果表彰 …… 令和2年 12月9日 《滋賀県看護学会開会式にて表彰予定》

★詳細は、後日ホームページにてご案内します。



## 訪問看護支援センターだより

滋賀県版

訪問看護・訪問介護事業所における

# 暴力・ハラスメント対策マニュアル

ご活用ください

滋賀県看護協会は、滋賀県から訪問看護師・訪問介護職員安全確保・離職防止対策事業を受託いたしました。2019年4月より、在宅医療・看護・介護の現場における暴力・ハラスメント対策委員会を設置し、委員の方々と会議を重ねて、滋賀県版～訪問看護・訪問介護事業所における暴力・ハラスメント対策マニュアルを作成しました。

まずは、暴力・ハラスメントは許せないことと認識することが重要です。

訪問看護・訪問介護の現場では、一人に対応することが多いので、職員一人ひとりが、日頃からの備えやその時の対応ができるように準備しておくことが必要です。

だれもが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる地

域づくりを推進するためには、在宅医療・看護・介護現場で職員の方々が、安心して働き続けられる職場環境であることや、利用者・家族等に尊重され、適切なケア技術を提供できることが必要です。ぜひ、このマニュアルを活用していただきたいと思います。



① 在宅医療・看護・介護の現場における暴力・ハラスメント対策検討委員の皆様  
② 訪問看護・訪問介護事業所における暴力・ハラスメント対策マニュアル

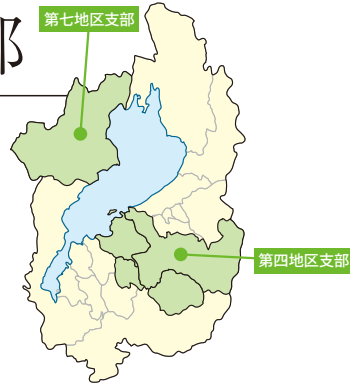


【① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦】

# 地域包括ケアシステムへの取り組み

## 第四地区支部・第七地区支部

今年度の「一番星みつけた!」は、地域包括ケアシステムへの取り組みを各地区支部の病院・施設・クリニック等より紹介していただきます。



### 第四地区支部

## 弓削メディカルクリニック

「きっとよくなる、もっとよくなる」をキャッチフレーズに20周年を迎え、人とのつながりを大切に地域へ最良の医療・介護・福祉・教育を発信している竜王町の弓削メディカルクリニックにお邪魔し、訪問看護ステーション所長の雨森千恵美さんにお話を聞かせていただきました。

### ◎訪問看護での取り組みについて

訪問の中で1人の患者さんと向き合って集中したケアをしています。また楽しい時間を過ごす事を日頃より考えており、患者さん家族と映した写真をA4版にして誕生日カードを作ったり、 Mascotを作成してお渡ししたりと患者さんに合わせた取り組みをしています。

### ◎グリーンケアについておこなっている活動は

初盆を迎える家族さんにお手紙を書いて送っています。心のこもった感謝の気持ちが書かれた返書にスタッフのモチベーションがアップしています。

### ◎グループホームでの取り組みについて

複数のグループホーム施設と連携し週に1度の健康観察やサービスを提供しています。グループホーム利用者さんが終末期に在宅で看取りができる働きかけをしています。

### ◎看取りについて

県下では少ないグループ診療を行っている為、利用者さんの約半数、年間20～25人程の在宅看取りを行っています。

### ◎今後の課題は?

一人暮らしや老老介護、核家族など介護を家庭でみる事が難しい場合、地域での介護が必要ですが受け皿が少ない現状です。今後の課題として、サービス付き高齢者住宅の医療対応型の重要性を考えています。小児の利用者家族のレスパイト受け入れや、働く世代でも受けられるような栄養相談の充実、エンディングノートの活用推進などに力を入れていきたいです。



地域の方々の暮らしを守るための「地域ケア会議」の様子



地域ケア会議メンバーの皆さん

### 第七地区支部

## 高島市民病院 朽木診療所

### 地域包括ケアシステムを根ざしたワンチームの一員として

訪問診療や往診の体制で一定の基準を満たした診療所を「在宅療養支援診療所」といい、当診療所もその一つです。在宅療養中で通院が困難な方に対して、医師が定期的に自宅へ訪問する訪問診療や急変時など突発的な場面に必要に応じて訪問する往診など医師や看護師が定期的に訪問し、診療や看護を行っています。

高島市は県内でも高齢化が加速している地域ですが、診療所のある朽木地域の高齢化率は44%を超え、独居高齢者の増加に伴う多様な支援が必要であり、特に病院受診については、バスや電車が利用できない通院困難という大きな課題があります。

このような背景を踏まえ、地域の方々の暮らしを守るための地域ケア会議が開催されています。地域唯一の医療機関であり、医師や看護師が参加しやすい当診療所を会場として行政、診療所、駐在所、ケアマネジャー、社会福祉協議会、民生委員、ヘルパー等が集まり、見守りが必要な方の生活状況や医療受診状況、認知症の有無、家族の状況等の情報共有と今後の対応について話し合っています。また各職種が抱える問題の共有や解決策の検討、疾患や感染症の勉強会等、多岐に渡る内容で1～2か月毎に開催しています。意見交換することで、問題点が明らかになり職種を超えた互いの理解や協力につながり「地域包括ケアシステム」の基盤となるワンチームの形成に寄与しています。

地域の方々が疾病を抱えても住み慣れた地域で顔なじみの方々とともに、自分らしい安心した暮らしが送れるようチームの一員として取り組んでいます。



訪問の様子



訪問ナース集合



弓削クリニックのみなさん



当地区支部では、去る10月26日、第2回研修会として、「働き続けられる職場環境づくりの推進」について考えるべく、滋賀県労働基準局・雇用環境・均等室室長の平井千恵子氏をお迎えし研修会を実施しました。当日は、『医療分野の勤務環境改善に向けての取り組み』と題し、医療をめぐる状況、看護職員の労働実態、働き方改革関連法の内容、医療勤務環境改善の取組等について、詳しくご教示いただきました。特に、看護師の勤務改善の方策については、勤務シフトの見直し、多様な勤務形態の導入、育児支援に関する取組、看護補助者の活用、職種を越えた業務分担などの具体的な内容とその効果、また、「働き方・休み方改善ワンポイント事例集」として実践されて様々な取り組みなども学びました。当日は管理者の方の参加も多く、今後の改善に向けて参考になったとの意見も多く聞くことができました。ますます厳しくなる医療現場において、看護師がいきいきと働ける環境づくりは喫緊の課題です。今後も引き続き、地区支部としての活動を考えていきたいと思います。

(第1地区支部・北川久美)

12月21日、湖南圏域コアネットKONANとの共催で「災害」をテーマに研修会を開催しました。講師に松阪中央総合病院の西村聖子氏を迎え自身の体験や活動を元に講演を、その後シンポジウムとして小児（病院）、訪問看護、行政（保健所）それぞれの立場から災害対策の現状を報告していただき、お互いを知ること、また参加者それぞれが自施設で今後災害対策にどう取り組んでいくべきかを考える良い機会となりました。



そして、令和2年1月25日「認知症高齢者のケア技術：ユマニチュード」をテーマに研修会を開催、済生会滋賀県病院の認知症看護認定看護師、中嶋博吉氏に講師を依頼、実技を含めた研修会では多くの学びがあり、即翌日から実践できる内容であったと考えます。

地区支部では次年度も看護職ネットワークの充実を図り「ともに学び、成長させる看護の力」で地域包括ケア推進をさらに進めるよう取り組んでいきたいと思います。

(第2地区支部・吉村 薫)

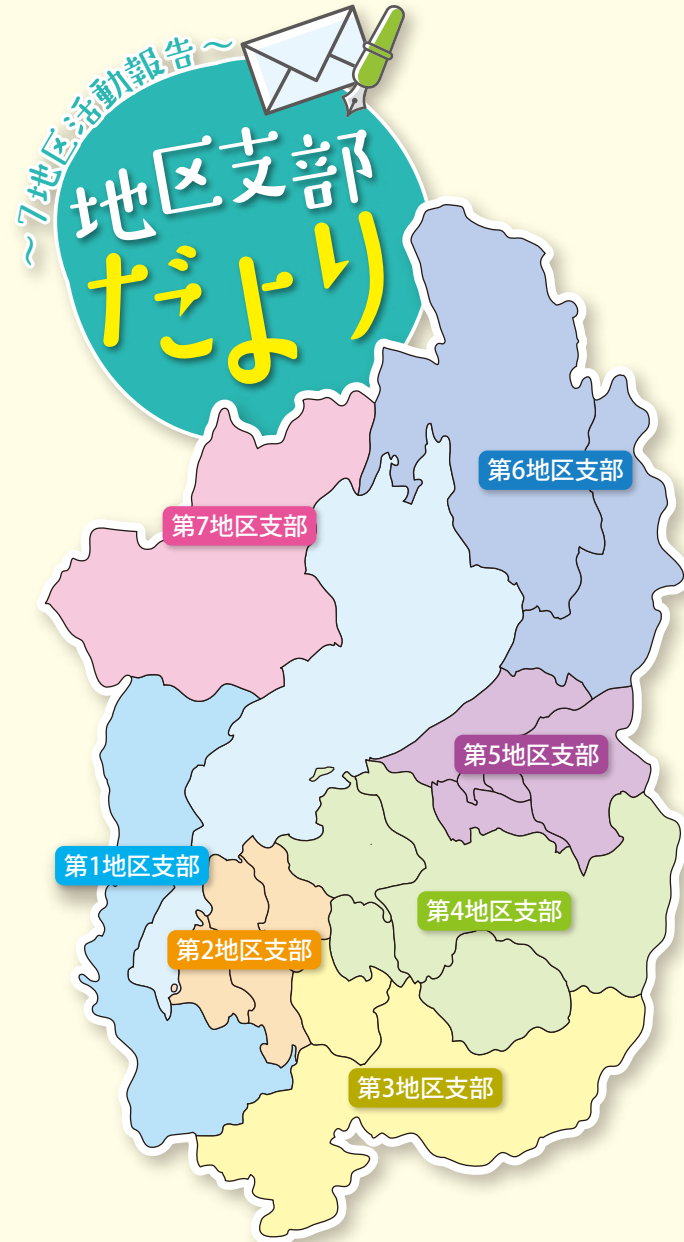
甲賀圏域では、令和元年度の活動は、地域の中の看護実践力の向上と質の向上に繋がる研修企画を目指して実践してきました。また、地域包括ケアシステムに対する住民理解を深めるために出前講座にも力をいれ、地域の看護職との連携強化にも努力して取り組みました。

合計8つの計画を実施し、延べ405人の方々に参加を頂き、まちの保健室では地域の健康推進員さんの健康セミナーに参加させて頂き195人の一般住民の方々と関わることができました。どの企画も地域内の各施設との連携をスムーズに取ることができ、看護職間の顔の見える関係の構築にも影響できたと思っています。令和元年度も地域住民の方を巻き込んだ企画も立案できるよう努力し、看護職のいるすべての施設との連携強化に励みたいと思います。

(第3地区支部・廣瀬 京子)



研修受講の様子



施設間の親睦を深める取り組みとして行ったフットサルでの交流会



東近江看護職ネット地域包括ケアフォーラム

第4地区支部では、令和元年11月「在宅や施設における感染対策」として冬場に向けてインフルエンザとノロウイルスについての講演を受けました。病院や診療所での現状困っている事や他施設での感染対策について、活発な意見交換ができました。

12月には「まちの保健室」・東近江健康フェアに参加し、アロマハンドマッサージと正しい手指消毒方法・マスクの装着指導を行いました。日頃の健康に対する取り組みや感染予防対策についてなど、参加者のみなさんから話が聞くことができました。

令和2年2月に東近江看護職ネット地域包括ケアフォーラムを開催されました。「地域の看護力向上を目指して病棟・外来・診療所看護師それぞれの分野における看護と取り組みや役割を知る」をテーマに実践報告を聞きました。グループワークでは連携を深めるためにそれぞれの立場で取り組める話し合いをし、顔が見える関係作りができた研修になりました。(第4地区支部・日永 菜穂子)



全世代型地域包括ケア推進フォーラム

第5地区支部では令和元年度の活動方針として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、全世代型地域包括ケアシステムの推進に向け、様々な職場で働く看護職の連携を強化していくことに取り組んでまいりました。

前年度に引き続き「診療所および介護施設で働く看護職のつどい」を開催したところ、参加者でのネットワークができ、今でも仕事上の相談や情報を共有するなど交流が継続していると報告を受けています。今後も同じ立場で働く看護職で学び合い、語り合えるつどい場を設け、地域包括ケアを推進する看護職としての機能強化を目指していきたいと考えています。

また、年齢や疾患、障がい等に関わりなく、自分らしく暮らせるまちづくりを目指し、第5地区支部における取り組みや活動を知り、今後の「ご当地地域包括ケアシステム」の推進に向け、私たち看護職に期待されること、貢献できることを考える機会として「全世代型地域包括ケア推進フォーラム」を開催しました。聖泉大学の看護学生さん2名を含む68名の参加があり、参加者のみなさんからは、各職場で看護を提供するだけでなく、子どもから高齢者、障がいや難病など地域で暮らす様々な住民が、自分らしく「地域」で暮らすための視点を持って「地域」とのつながりを大切に取り組んでいきたいなど、頼もしい声がたくさん寄せられました。さらに、湖東圏域看護ネットワーク推進会議では、重症化や再入院予防のため病院看護師から診療所看護師へ看護サマリーを送付する仕組みを試行的に開始し、また看護の専門能力の向上を図ることを目的に、湖東圏域認定看護師等一覧を作成し、各病院や施設等に配布し、学び合える環境が整いました。

今後も、地域包括ケアの推進に貢献できるよう、共に学び合い、つながれるような活動に取り組んでいきたいと考えております。

(第5地区支部・林 優子)



看護職交流会・研修会の様子

第6地区支部では、地域包括ケアを支える看護職の連携強化を活動方針に掲げています。「看護実践能力の強化」として、湖北圏域看護職連携会議や多職種連携の事例検討会へ参加し、地域の課題を共有し課題解決に向けた取り組みを行っています。

また地域看護ネットワーク事業と協賛し、今年度は看取りの看護を視点にした看護フォーラムを開催して、あらゆる場で役割を發揮している看護職の理解を深めることが出来ました。困難対応に対する研修会や看護交流会の開催を通して、顔の見える関係づくりを行い、連携強化につなげました。湖北地域の健康フェスティバルでは、市民に向けた「まちの保健室」を出展し、疾病予防のため、正しい手洗い指導などを行い、出前講座では、認定看護師による健康教室を開催しました。今後も地域で専門性が發揮できる機会を増やし、看護職の機能強化に取り組んでいきたいと考えています。

(第6地区支部・弓削 悦子)



第7地区まちの保健室

●まちの保健室/令和元年12月8日：「高島まるごと元気まつり」において「まちの保健室」のブースを開設し、血圧測定や血管年齢測定、健康相談を実施しました。当日、協会員4名の他、高島市民病院の新人看護師さん2名も自主参加いただき、約130人の市民の方とふれあうことができました。

●湖西圏域看護ネット交流研修会/令和2年1月16日：「肺炎の観察ポイント」をテーマに市内診療所、訪問看護ステーション、高齢者施設、病院、行政（地域包括支援センターを含む）の看護職が集まり知識を深め交流を行いました。50名の参加があり、参加者から「年齢、経験、働く場の違う看護職が交流することで入院や在宅での連携を話し合えてよかった」等の声が聞かれました。

●事例検討会/令和2年2月13日：「在宅療養にむけての有効なカンファレンスのあり方について～多職種連携を通じて～」をテーマに、医療的ケア児の病院と訪問看護ステーションにおける支援事例から、今後の成長や家族支援も見据えた地域で必要な連携について意見交換を行うことができました。参加者は57名でした。

(第7地区支部・西村 陽子)



## 看護師職能委員会I（病院領域）

委員長 小森 久美子

2019年度、看護師職能委員会I（病院領域）の委員一同です。私たちは、現場における看護活動の課題を抽出し解決に向けた取り組みを行っています。今年度は、「看護チームにおける看護師・准看護師、看護補助者との協働」および「看護師のクリニカルリーダー（JNA版）の導入と活用」に焦点化し活動しています。

去る1月17日の『看護補助者活用のための看護管理者研修会』では、90人以上の管理者の方々が参加され有意義な意見交換が行われました。各病院に持ち帰りきつと生かしていただけるだろうと感じました。また2月22日の看護師交流集会では、クリニカルリーダーの活用に関する講演と実践報告を含めたシンポジウムを行いました。多職種連携が更に求められる時代となり、看護のあり方を皆さまと共に考え導き出せるようにと願ってお

ります。

毎月の委員会活動では、学びと面白みを感じることができることを目標としています。主体性と持ち味豊かな委員のボトムアップにいつも支えられている委員長です。



## 教育委員会

委員長 吉永 典子

教育委員会では、様々な場所で活躍する看護職が、専門職業人としての看護の知識・技術の向上を図り、安全・安心な看護を提供できる能力を養うことを目的に、研修の企画・運営及び評価を行なっています。日本看護協会のクリニカルリーダーを用いて、教育計画一覧を作成してい



ます。現在、クリニカルリーダーやキャリアリーダーが施設ごとに導入されてきており、研修受講による個人のキャリア発達に是非、繋げて頂きたいと思えます。

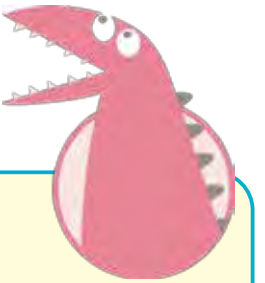
同時に、多くの看護職の方に受講して頂けるように検討も行なっています。研修終了後の皆様からのご意見から、社会・医療の動向を踏まえた「看護の将来ビジョン」に基づき、翌年の教育計画を検討しています。2019年は新しく循環器医師・慢性心不全認定看護師・訪問看護ステーション看護師の3人を講師に迎え「慢性心不全患者の生活調整に向けた看護」を開催し、定員以上の参加がみられました。それぞれの講師のお話から、多角的な視点で考えることを学び、具体的にイメージがしやすくカンファレンスに活かしたいという声を受講者からいただき、実践に活かしやすい研修であったと好評でした。

次年度以降も、県下の豊富な人財を活用した、様々なニーズに沿った教育計画を企画したいと思えます。

〈令和元年度・第2回〉

## 看護職のワークライフバランス推進研修会

- 開催日時：令和2年2月13日
- 会場：滋賀県看護研修センター
- 対象：滋賀県内医療機関・訪問看護ステーション・介護福祉施設 看護管理者



講演

### 働き方改革における タスク・シフティング、タスク・シェアリング ～看護師の業務とタスク・シフト～

講師／安西 恵梨子 氏 [公益社団法人日本看護協会 看護開発部]

国が目指す2024年の医療提供体制にあわせた働き方改革の中で、タスク・シフティング、タスク・シェアリングへの緊急的な取り組みが求められている。日本看護協会は、国民に必要な医療が安全かつタイムリーに提供されるためには、以下のことが必要としている。

- ★特定行為研修制度の推進だけでなく、国民のニーズに対応できるようにナース・プラクティショナー（仮称）制度の構築が必要である。
- ★すべての看護師が自律的に判断できる範囲を拡大することが必要である。
- ★12年前に通知されている役割分担のさらなる推進が必要である。



国民に必要な医療が安全かつタイムリーに提供されることが不可欠。

### WLB 取り組み施設 の報告

- 済生会守山市民病院**／他職種で編成した“業務改善するゾウ!” “みんなに知ってもらうゾウ!” チームの活動を通じて問題解決への取り組みができている。また、病院管理3トップの部門訪問によって、職員の意見を聞き、組織の方向性の説明を行った結果、職員一人一人が組織の方向性を理解し、働く環境改善への取り組みができている。
- 公立甲賀病院**／各推進メンバーの活動によってWLB推進体制づくりが整い、やりがいを持って健康で働き続けられる活動に結びつくことができ、病院全体を巻き込んだ組織の変革につながり、さまざまな環境改善ができている。

### 『職場におけるパワーハラスメントに関する実態調査』結果より

- ◆パワーハラスメント対応の周知への研修教育は、全職員が理解を深める研修が必要である。
- ◆実際の行動レベルまでのルールづくりが必要である。
- ◆予防・解決のための取り組みと併用し、実態調査も重要であり必要である。



# ナースセンターだより



受講生の声  
Vol.7

## 研修を受けて不安がなくなり、再就職ができました!!

S.I さん



私は総合病院に10年程勤務し、その後デイサービス（通所介護）にて10年働きました。デイサービスは高齢の方々と深く長く関わる事ができる楽しい仕事で、続けていきたいと思いましたが、勤務体制が看護職1人が多い状況と、長らく病院勤務から離れている事、新しい知識や技術が足りない事に不安がありました。再就職をするにあたりリスタートナースサポート研修の事を知り、これらの不安を払拭するために参加を決めました。

リスタートナースの研修は、緊張しながらのスタートでした。摂食嚥下・リハビリ・褥瘡などの各講義、緊急時対応や吸引等の看護技術も器具を使用しながら教えて頂きました。

研修後、またデイサービスに再就職することができました。以前より自信が持てた事、多職種連携をとれるようになった事、他スタッフに気軽に聞いたり頼れるようになり、より楽しく働いている自分にビックリしています。

した。介護現場においてもすぐに役立つ知識や技術も沢山知ることができました。グループワークもあり、徐々に緊張も和み、モヤモヤしていた不安も研修が進むにつれて一つ、また一つと軽減していききました。同じような思いを抱えている方々とお話をさせて頂くうちに、不安に思っているのは自分だけではないと気付く、前向きに考えられるようになりました。

研修後、またデイサービスに再就職することができました。以前より自信が持てた事、多職種連携をとれるようになった事、他スタッフに気軽に聞いたり頼れるようになり、より楽しく働いている自分にビックリしています。



## WLB（ワークライフバランス）推進研修会を今年度は2回開催しました!



2019年度は、WLB推進研修会を2回開催しました。

第1回研修会は、「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の実現に向けて」～ハラスメントのない組織～をテーマに、日本看護協会、常任理事の熊谷雅美氏による講演と参加者68名が役職別に分かれ、健康で安全な職場環境整備の現状と課題についてグループワークを行いました。参加者からは、それぞれの立場で活発な情報交換ができ、有意義だったという評価でした。

第2回研修会は、「働き方改革におけるタスクシフティング・タスクシェアリング」をテーマに、日本看護協会、看護開発部の安西恵梨子氏による講演とWLB取り組み2施設（公立甲賀病院・済生会守山市民病院）の報告、労働環境改善委員会が病院・訪問看護ステーション・介護福祉施設の看護管理者対象に実施した「職場におけるパワーハラスメントに関する調査結果」の報告を行いました。講演では、今注目される医師の働き方改革

に伴うタスクシフティング・タスクシェアリングに関する国の政策的動向や全国的な取り組み状況、日本看護協会の考えと取り組み状況や課題について、全体をとらえた最新の情報を得ることができました。参加者からは、看護職が今後どう対応すべきか考える機会となり、現状がよく理解できたという反応がありました。今回は、現場で活躍中の看護管理者77名の皆様へタイムリーな情報提供ができたのではないかと思います。次年度も引き続き研修会へのご参加をお願いします。

また、WLB取り組み2施設の報告も好評で取り組みを参考にしたいという意見がありました。今後も、医療勤務環境改善支援センターと連携し、WLBに取り組まれる医療機関をご支援しますのでご活用ください。



## 看護職就職フェア inしが

令和2年2月19日(※)、クサツエストピアホテルにて開催しました。73施設の求人（病院、訪問看護ステーション、介護福祉施設等）と、111名の求職者の参加がありました。一人でも多くの看護職の方が看護の力を発揮できるように願っています。



## 看護フェア2020 ~看護の心を、みんなの心に~

『看護の力で健康な社会を!!』

2020年5月10日(日) 10:30~15:00

A・SQUARE (SARA南館中央イベント広場・アヤカ広場イベントステージ)

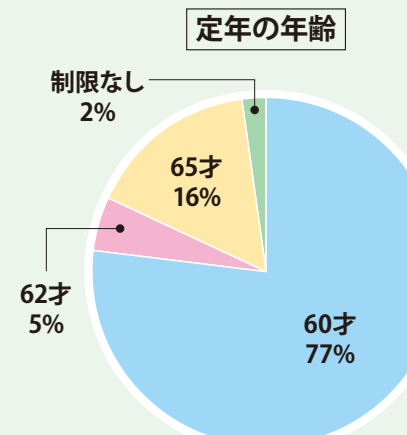
各種イベントを開催します。13:00~14:00には、看護職による歌やダンスや滋賀県出身のシンガーソングライターの佐合井マリ子さんの歌とトークのイベントも予定しています。



## SHIGA! はたさぽ通信

就業コーディネーター 乾悦子

プラチナナースは、ナースストリートでも紹介されています。いまや働くナースの11人に1人は60歳以上といわれています。今回は、57施設の病院訪問時に伺ったセカンドキャリアの活用についてご紹介します。



定年の年齢は、60歳が44施設と一番多い状況ですが、62歳が3施設、65歳は9施設で定年後は再雇用制度があり、また、年齢制限なしは1施設あり働き続けられる状況です。

看護のキャリアと生活経験を活かし、夜勤をしている11施設、当直をしている2施設で夜間帯での活躍もありました。中には夜勤専従で若いスタッフの指導やフォローを担っておられる方もあります。入退院支援センターや外来フロアや総合案内で各種相談や問合せに笑顔で対応されて患者さんやご家族からも信頼を得られます。ある施設訪問時には、実際に対応されている場面に遭遇し、また、若いスタッフからは生活のヒントも教えてもらえるとの声もあることをお聞きし、同じ60代としてうれしく思いました。

お問合せ先

●滋賀県ナースセンター TEL.077-564-9494 / FAX.077-562-8998  
●彦根サテライト TEL.0749-30-1235 / FAX.0749-30-1233  
●E-mail: shiga@nurse-center.net

詳細はホームページをご覧ください

